

北海道地方海水情報 第4号(長期)

令和5年3月22日(水) 11時00分
札幌管区气象台発表

(見出し)

オホーツク海南部の海水は融解しながら後退するでしょう。北海道周辺の海水は融解・後退が進む見込みです。

(本文)

[概況]

オホーツク海では気温が平年より高く経過したため、海水の融解が進み、3月中旬以降、オホーツク海全域の海水域面積は平年より小さく経過しています。北海道周辺の海水は、3月21日現在、知床半島と国後島の海岸から20キロメートル以内に散在しています。また、小規模な海水が根室海峡に流入しています。

[今後1か月の予想]

オホーツク海上空の気温は平年より高く、オホーツク海南部の海水は融解しながら後退するでしょう。北海道周辺に散在している海水は融解・後退が進む見込みです。太平洋へは小規模な海水が期間のはじめ一時的に流出する可能性があります。今後、日本海へは流出しないでしょう。オホーツク海全域の海水域面積は平年より小さく経過する見込みです。

今期の北海道地方海水情報(長期)は、これで終了します。

札幌管区气象台ホームページ 海水・流氷に関する情報

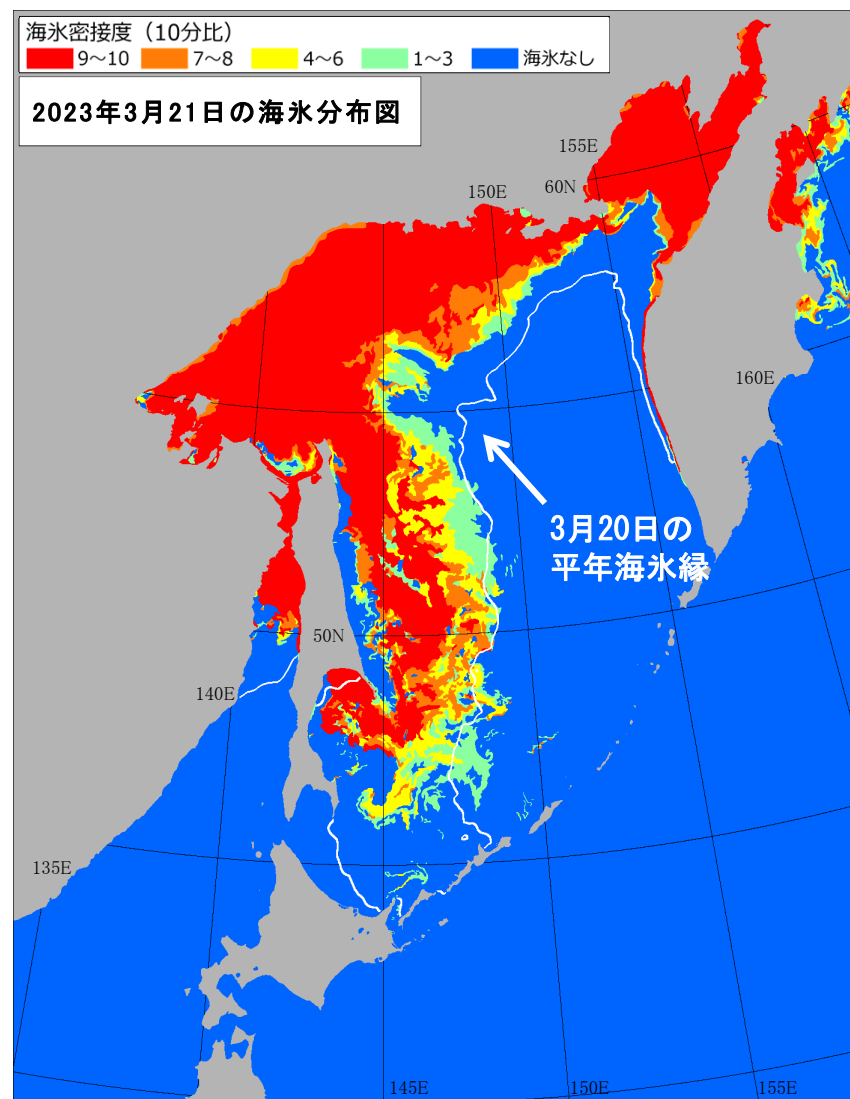
<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/kaiyou/seaice/seaice.html>

気象庁ホームページ 海水に関する現象の初日

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/seaice/hokkaido/hokkaido_coastal_list.html#detail

気象庁ホームページ オホーツク海の海水の平年値(海水分布図)

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/seaice/okhotsk/okhotsk_normal.html



海水分布の作成には、気象衛星による観測結果を利用しています。